



- a. 客間の和室は、有機イ草の畳と土佐和紙で仕上げ。
- b. トドマツのフローリングと、セルフビルドの珪藻土が自慢のリビングダイニング。
- c. 子供部屋は将来仕切のことを考えながら、今はオープンスペースで使用。
- d. シンプルにムクのアカマツでつくった、完全オーダーの木製キッチン。
- e. 土間と囲炉裏のある心なごむパブリック空間の主役はペレットストーブ。
- f. 洗面所などの水回りの床は、天然ワックス仕上げのコルクフロア。

SAIJO INTERIOR DESIGN

エ/コ/ロ/ジ-/建/築/エ/房 西條インテリアデザイン

札幌市・T邸
工法 / 在来工法・標準工期 / 120日・プラン / フリープラン



自然派住宅で、健康な住まいを手に入れる。



道南スギの下見板張りの外壁が、いかにも自然派のライフスタイルを印象づけている。

エ/コ/ロ/ジ-/建/築/エ/房 (有)西條インテリアデザイン

SAIJO INTERIOR DESIGN

本社：〒002-8081 札幌市北区百合が原4丁目8-1 Tel.011-774-8599 Fax.011-774-8581
伊達支店：〒052-0014 伊達市舟岡町50-28 Tel.0142-22-0138 Fax.0142-22-0139

かわいい企業情報は「北海道ビルダーINDEX」をご覧ください。



資料請求番号
ハガキで資料を
取り寄せられます。

野菜づくりを趣味とするオーナー夫婦が、小さい子どもたちのために建てた家。ちよびり手はかかるけれど有機野菜のように安全で、新築なのになぜか懐かしい、天然素材、いっばいの自然派住宅だ。

健康な住まいを手に入れるために、薬剤処理や化学物質の使用を極力控えている。土台に選んだムクのクリ材、床のフローリングを4cm厚のトドマツのムク板にすることで、下地合板も使用せずにすんだ。接着剤を使わない材料選びや施工方法は、地球環境と住まい手にとって最もリスクを軽減できる方法でもある。

1階の土間と囲炉裏のある空間は家と畑をつなぐ役割を果たし、ゲストを迎えるときびきりのパブリックスペースとして活躍。2階のリビングとダイニング空間は、明るいプライベートルームに、つくり手と住まい手が一緒にプランをつくり素材を選ぶ、セルフビルドによる家づくり。こうして家族の健康を何よりも大切に考えた家が完成した。

もうひとつのテーマは、脱化石燃料の切り札！木質ペレットを燃料にしたFFストーブを主暖房に取り入れたこと。1階に設置したペレットのやわらかな温風は、2階のリビング空間まで届くように配慮。さらに、補助暖房として窓下に設置した電気オイルパネルが、冷気止めとして結露の防止に役立っばかりでなく、冬場の外出時も燃料切れの心配をすることなく心強い。ペレットストーブは家庭でできる温暖化対策なのだ。